

宮崎県感染症週報

宮崎県感染症情報センター：宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第49週の発生動向

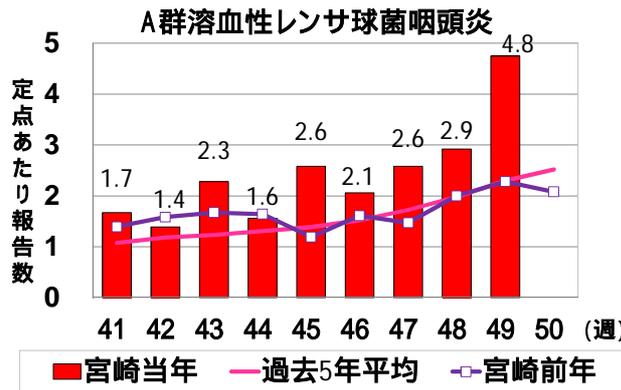
定点医療機関からの報告総数は1,777人(定点あたり53.9)で、前週比107%と増加した。

インフルエンザ・小児科定点からの報告

前週に比べ増加した主な疾患はA群溶血性レンサ球菌咽頭炎で、減少した主な疾患は手足口病であった。

【A群溶血性レンサ球菌咽頭炎】

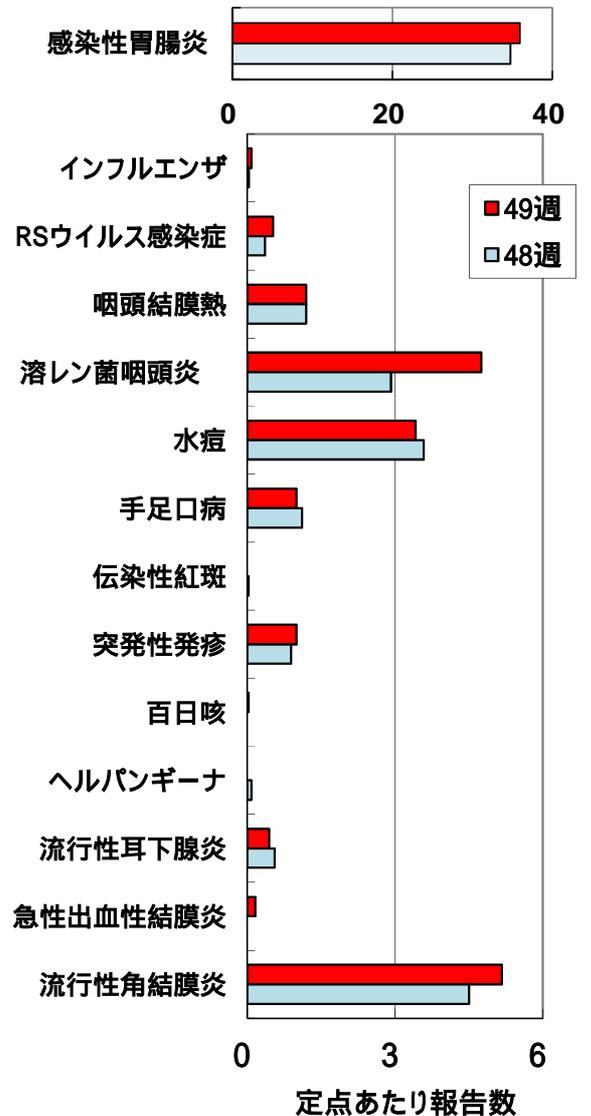
・報告数は171人(4.8)で前週比163%と増加した。例年同時期の定点あたり平均値(2.3)の約2.1倍である。宮崎市(8.7)、延岡(8.5)保健所からの報告が多く、年齢別では3歳から6歳が全体の約6割を占めた。



【感染性胃腸炎】

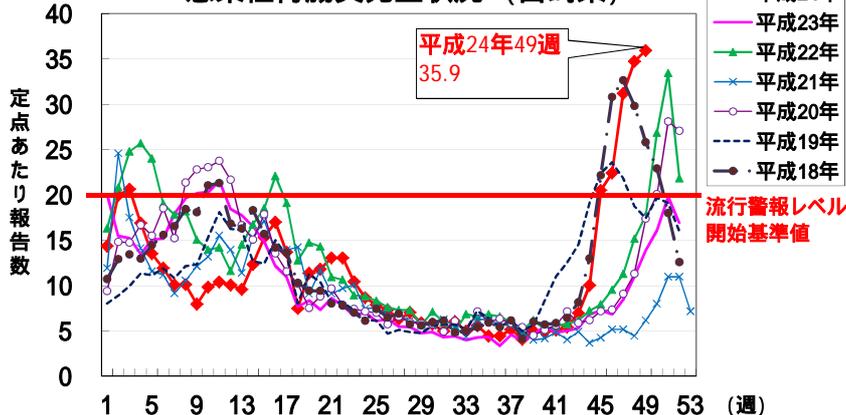
・報告数は1,294人(35.9)で前週比104%と横ばいであった。例年同時期の定点あたり平均値(14.9)の約2.4倍である。中央(61.0)、小林(60.0)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から2歳が全体の約3割を占めた。

(前週との比較)



A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

感染性胃腸炎発生状況 (宮崎県)



感染性胃腸炎 保健所別推移



基幹定点からの報告

マイコプラズマ肺炎：延岡（1人）保健所から報告された。患者は5歳。

流行警報レベル開始基準値超過疾患

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.7)、 感染性胃腸炎(38.1)、流行性角結膜炎(8.7)
都城	感染性胃腸炎(25.0)
延岡	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.5)、 感染性胃腸炎(50.3)、水痘(10.3)
日南	咽頭結膜熱(4.0)、感染性胃腸炎(22.0)
小林	感染性胃腸炎(60.0)
高鍋	感染性胃腸炎(29.0)
高千穂	感染性胃腸炎(21.0)
日向	感染性胃腸炎(29.5)
中央	感染性胃腸炎(61.0)

* 流行警報レベル開始基準値 *

- ・咽頭結膜熱(3.0)
- ・A群溶血性レンサ球菌咽頭炎(8.0)
- ・感染性胃腸炎(20.0)
- ・水痘(7.0)
- ・流行性角結膜炎(8.0)

全数把握対象疾患

- 1 類感染症：報告なし。
- 2 類感染症：結核 4 例。
- 3 類感染症：報告なし。
- 4 類感染症：つつが虫病 7 例。
- 5 類感染症：報告なし。

	疾患名	報告 保健所	年齢群	病型	症状
2類	結核	宮崎市	60 歳代	疑似症患者	咳、痰
			70 歳代	肺結核	咳、痰
			80 歳代	その他の結核 (リンパ節類上皮肉芽腫)	なし
		都城	30 歳代	疑似症患者	咳
4類	つつが虫病	宮崎市	30 歳代	-	発熱、刺し口、発しん
		都城	60 歳代	-	頭痛、発熱、刺し口、発しん
		小林	50 歳代	-	頭痛、発熱、刺し口
			70 歳代	-	頭痛、発熱、刺し口、発しん
			70 歳代	-	発熱、刺し口
		高鍋	30 歳代	-	頭痛、発熱、刺し口、リンパ節腫脹、発しん
			60 歳代	-	頭痛、発熱、刺し口、発しん

病原体情報（衛生環境研究所微生物部 平成 24 年 12 月 9 日までに検出）

ウイルス（サーベイランス）

報告なし。

細菌

報告なし。

ノロウイルス検出情報（平成 24 年 12 月 3 日から 12 月 9 日までに検出）

8 件の検査依頼があり、8 件すべてからノロウイルス G が検出された。

全国第 48 週の発生動向

定点医療機関あたりの患者報告総数は 26.7 で、前週比 129%と増加した。今週増加した主な疾患は感染性胃腸炎と水痘で、減少した主な疾患は手足口病であった。

感染性胃腸炎の報告数は 56,677 人（18.0）で、前週比 138%と増加した。鹿児島県（37.4）、宮崎県（34.7）、福井県（33.6）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 2 歳が全体の約 3 割を占めた。

水痘の報告数は 5,448 人（1.7）で、前週比 118%と増加した。山形県（3.8）、宮崎県・宮城県（各 3.6）、新潟県（3.2）からの報告が多く、年齢別では 1 歳から 5 歳が全体の約 8 割を占めた。

全数把握対象疾患（全国第 48 週）

1類感染症	報告なし					
2類感染症	結核	329 例				
3類感染症	細菌性赤痢	3 例	腸管出血性大腸菌感染症	46 例		
4類感染症	E 型肝炎	2 例	A 型肝炎	1 例	エキノкокクス症	1 例
	つつが虫病	24 例	デング熱	6 例	マラリア	1 例
	レジオネラ症	22 例	レプトスピラ症	1 例		
5類感染症	アメーバ赤痢	18 例	ウイルス性肝炎	1 例	急性脳炎	3 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	3 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2 例	後天性免疫不全症候群	17 例
	ジアルジア症	1 例	梅毒	9 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	2 例
	風しん	34 例	麻しん	4 例		

月報告対象疾患の発生動向 <11月>

性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は36人（2.8）で、前月比82%と減少した。また、昨年11月（2.9）の約9割であった。

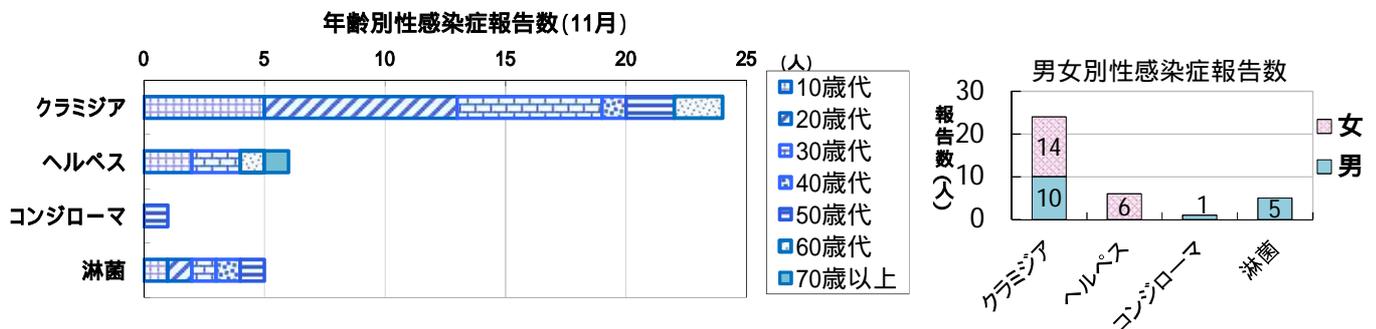
《疾患別》

性器クラミジア感染症：報告数24人（1.9）で、前月の約9割、前年と同程度であった。都城・日向（各3.0）保健所からの報告が多く、20歳代・30歳代が全体のそれぞれ約3割を占めた。

性器ヘルペスウイルス感染症：報告数6人（0.46）で、前月の約8割、前年の約1.5倍であった。10歳代・30歳代がそれぞれ2人、60歳代・70歳代がそれぞれ1人で、すべて女性であった。

尖圭コンジローマ：報告数1人（0.08）で、前月の半数、前年の約3割であった。50歳代の男性であった。

淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月及び前年の約7割であった。すべて男性であった。



【全国】 定点医療機関総数：960

定点医療機関からの報告総数は3,857人（4.0）で、前月比89%と減少した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症1,954人（2.0）で前月比89%、性器ヘルペスウイルス感染症700人（0.73）で前月比92%、尖圭コンジローマ467人（0.49）で前月比88%、淋菌感染症736人（0.77）で前月比88%であった。

薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は46人（6.6）で前月比100%と横ばいであった。また、昨年11月（4.7）の約1.4倍であった。

《疾患別》

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数43人（6.1）で、前月と同程度、前年の約1.5倍であった。70歳以上が全体の約半数を占めた。

ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月及び前年と同程度であった。70歳以上の報告であった。

薬剤耐性緑膿菌感染症：報告数1人（0.14）で、前月と同程度、前年の半数であった。70歳以上の報告であった。

薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：467

定点医療機関からの報告総数は2,144人（4.6）で、前月比103%と横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,770人（3.8）で前月比98%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症334人（0.72）で前月比131%、薬剤耐性緑膿菌感染症39人（0.08）で前月比100%、薬剤耐性アシネトバクター感染症1人であった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2012年 第49週(12月03日～12月09日)

疾病名		第48週	第49週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数	2	5	3	1	1						
	定点あたり	0.03	0.08	0.19	0.10	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	13	19	1	7	4			3		4	
	定点あたり	0.36	0.53	0.10	1.17	1.00	0.00	0.00	0.75	0.00	1.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	43	43	5	6	9	12	3	2		6	
	定点あたり	1.19	1.19	0.50	1.00	2.25	4.00	1.00	0.50	0.00	1.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	105	171	87	2	34	12	1	21	2	10	2
	定点あたり	2.92	4.75	8.70	0.33	8.50	4.00	0.33	5.25	2.00	2.50	2.00
感染性胃腸炎	報告数	1250	1294	381	150	201	66	180	116	21	118	61
	定点あたり	34.72	35.94	38.10	25.00	50.25	22.00	60.00	29.00	21.00	29.50	61.00
水痘	報告数	129	123	22	24	41	2	2	20		7	5
	定点あたり	3.58	3.42	2.20	4.00	10.25	0.67	0.67	5.00	0.00	1.75	5.00
手足口病	報告数	40	36	21	2	5	1	1	3	2		1
	定点あたり	1.11	1.00	2.10	0.33	1.25	0.33	0.33	0.75	2.00	0.00	1.00
伝染性紅斑	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	32	36	17	4	7		1	4		2	1
	定点あたり	0.89	1.00	1.70	0.67	1.75	0.00	0.33	1.00	0.00	0.50	1.00
百日咳	報告数		1			1						
	定点あたり	0.00	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	3										
	定点あたり	0.08	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
流行性耳下腺炎	報告数	20	16		13				1		1	1
	定点あたり	0.56	0.44	0.00	2.17	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	1.00
急性出血性結膜 炎	報告数		1	1								
	定点あたり	0.00	0.17	0.33	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	27	31	26	4	1						
	定点あたり	4.50	5.17	8.67	2.00	1.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺 炎	報告数	3	1			1						
	定点あたり	0.43	0.14	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

全数把握対象疾患累積報告数(2012年第1週～49週)

2類感染症	結核	245例(4)			
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	67例			
4類感染症	E型肝炎	1例	A型肝炎	3例	つつが虫病
	デング熱	2例	日本紅斑熱	9例	レジオネラ症
	レプトスピラ症	3例			
5類感染症	アメーバ赤痢	3例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	2例	後天性免疫不全症候群
	梅毒	3例	破傷風	4例	麻しん

()内は今週届出分、再掲